

これ1台で、
PCとワイヤレス、映像の関係が
さらに進化する。

ハードディスク
ビデオレコーダ

ワイヤレス
ストレージ
(ハードディスク)

ワイヤレス
TVチューナ

ワイヤレス
ブロードバンド
ルータ

※デジタルプラズマテレビ、dynabookは別売です。

TransCube20

WIRELESS HOME MEDIA STATION

TransCube 20 [PATRC020] オープン価格*

※オープン価格の商品は本体希望小売価格を定めておりません。

1台4役

1

ハードディスクビデオレコーダ

- TV番組を録画・再生。[長時間1]モードで最大約230時間、[高画質]モード(平均8Mbps)で最大約40時間録画できる。
- 写真データをダイレクトに取り込めるSDカードスロット・PCカードスロット

2

ワイヤレスTVチューナ

- 家の中の好きな場所でPCをワイヤレスTVとして楽しむことができる。

3

ワイヤレスストレージ(ハードディスク)

- 外部ハードディスクとして映像、音楽、PCデータなどをワイヤレスで保存できる。

4

ワイヤレスブロードバンドルータ

- 高速・高画質でワイヤレス通信。
IEEE 802.11a/bデュアルバンドに対応。

TransCube 20ならではの便利な機能

- 映像・写真・音楽データをTV1台とPC2台でマルチ鑑賞できる。
- インターネットを外出先から「リモート録画予約」できる。
- MP3音楽データをTVやPCで再生できる。



1台4役のTra

「TransCube 20」は、ハードディスクビデオレコーダ、ワイヤレスストレージ(ハードディスク)、ワイヤレスTVチューナ、ワイヤレスフロントパネルルータの機能を搭載し、TV番組の録画・再生をより便利に、そしてPCをワイヤレスで接続し映像

1 TVとつないでハードディスクビデオレコーダとして使える

ハードディスクビデオレコーダとしてTV番組を録画・再生

TransCube 20をハードディスクビデオレコーダとして使用できます。好きな番組を視聴している時、録りたいシーンがあればサッと〔録画〕ボタンを押すだけの簡単操作で録画できます。ビデオテープのように、録画位置の頭出しや空きテープを用意する必要がありません。

■ 160GBハードディスクに最大約230時間の録画が可能

1タイトル当たり最長12時間の連続長時間録画が可能です。録画ビデオは、160GBハードディスクに最大約230時間〔長時間1〕モード時)もの録画が行えますから、気になるTV番組はどんどん録画できます。

■ 高画質モード(平均8Mbps)で最大約40時間の録画

美しく録っておきたい映像は、DVDクオリティの〔高画質〕モード(平均8Mbps)で録画すれば、鮮明な映像で鑑賞できます。〔高画質〕モードでは最大約40時間の録画が可能です。

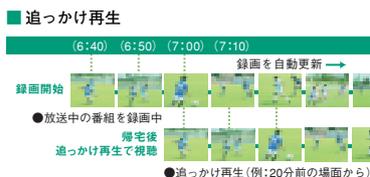
- 録画可能タイトル数：200タイトル
- 1タイトルの最大録画時間：12時間
- 録画可能時間の目安

画質モード	最大録画時間
長時間1 (平均1.4Mbps)	約230時間
長時間2 (平均2.2Mbps)	約145時間
標準 (平均4Mbps)	約80時間
高画質 (平均8Mbps)	約40時間

※各画質による録画可能時間は、ハードディスクに何もデータが保存されていない状態での値です。また録画時間はあくまでも目安です。

録画中でも番組を最初から「追っかけ再生」、ちょっと先へ「ワンタッチスキップ」

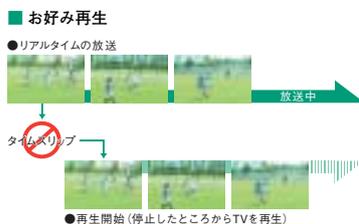
TV録画の途中でも、「追っかけ再生」機能を使えば、録画はそのまま続けながら番組のはじめから再生できます。また、見たいシーンがもう少し先にあったはず、というときに便利なのが「ワンタッチスキップ」機能です。ボタンを1回押せば、約15秒先の映像にジャンプし、再生を開始。連続で押せば、そのたびに約15秒先の映像が再生されます。



※約15秒は目安です。正確に15秒のジャンプができないこともあります。

席をはずしても、戻って続きを見られる「お好み再生」(タイムスリップ)

現在見ている番組を録画しながら番組の一時停止、早戻し、早送りが行えます。不意の電話や来客時に〔タイムスリップ〕ボタンを押せば、用事が済んだあとボタンを押したところから再生し、続きを見ることができます。



VHSビデオテープのアナログデータをデジタル録画できる

録りためたVHSビデオテープの映像は、TransCube 20のハードディスクにデジタル録画できます。1本6時間の3倍モードで録画したVHSビデオテープなら約38本分の保管が可能*。いつまでも色褪せないデジタル画質で保存できます。もちろんデジタルビデオカメラの映像も一括管理できます。

*〔長時間1〕モードで録画した場合

外部CS、BSデジタルチューナの録画予約も可能

外部CS、BSデジタルチューナを接続すれば、映像信号を自動検出する「入力自動録画機能」により、チューナ側の予約機能を使ってTransCube 20に録画予約することができます。

録画中に別の録画データの再生が可能

TV番組等を録画しながら、すでに録画されている別のタイトルを再生できます。

デジタルスチルカメラの写真データをSDカードスロット・PCカードスロットでダイレクトに取り込み

デジタルスチルカメラの撮影データを取り込めるSDカードスロットと、PCカードスロットを装備し、ダイレクトに保存できます。最大10,000枚の写真データを保存、一覧表示に加え、TVの大画面で1枚づつ見て楽しんだり、〔スライドショー〕で自動的に連続再生できます。



大きなアイコンで見やすいインターフェースと多機能リモコンを装備

TV画面は、大きなアイコンで直感的な操作が行えるインターフェースを用意。リモコン操作がしやすいようにTV画面に使用するボタンが表示されます。PCでは〔簡単操作モード〕〔エキスパートモード〕の2タイプを用意し、お好みにより選べます。



2 PCのワイヤレスTVチューナとして使える

新しいTVの楽しみ方が生まれる PCがワイヤレスTVになる

TransCube 20を使えば、TV番組の映像をワイヤレスで飛ばすことができるため、リビング、キッチン、寝室、書斎など、いつでも家の中の好きな場所でPCをワイヤレスTVとして楽しむことができます。

※ワイヤレスLANIに関するご注意につきましてはP.4をご覧ください。



※デジタルプラズマテレビ、dynabookは別売です。

nsCube 20

デオレコーダ、ワイヤレスTVチューナ、
ブロードバンドルータの4つの機能を1台に集約。
・音楽・ブロードバンドを家の中で場所を選ばず楽しむことができます。

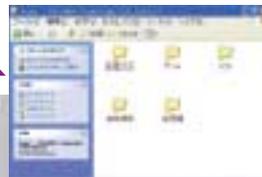
3 PCのワイヤレスストレージ(ハードディスク)として使える

外部ハードディスクとして映像、音楽、PCデータなどをワイヤレスで保存する

TransCube 20の160GBハードディスクには、ビデオ映像、MP3デジタル音楽、デジタル写真を一括管理できるほか、通常のPCデータを5GB保存できる専用の格納スペースを用意しています。PCの外部ハードディスクとして活用したり、別々のPCに保存している住所録データなどをTransCube 20に一元管理しておけば、家族全員でデータを共有できます。またデジタルビデオカメラの撮影映像の全部または一部をPCに取り込み、「WinDVD Creator」で編集後、TransCube 20に転送し保存しておくこともできます。



写真、ビデオ、音楽を一括管理



5GBのPCデータ専用領域を用意

4 PCのワイヤレスブロードバンドルータとして使える

家の中が、アクセス自在のユビキタス環境になる

家の中のあらゆる場所がインターネットにアクセスできるユビキタス環境として生まれ変わります。常時接続のブロードバンドのため、情報を好きに自由に引き出すことができ、メール送受信もスムーズ。ワイヤレス機能を搭載した複数台のPCで、ブロードバンドをワイヤレスで楽しめます。

高速・高画質でワイヤレス通信可能、IEEE 802.11a/bのデュアルバンドに対応

最大54Mbpsのデータ通信能力で大容量データも高速転送できるIEEE802.11a*と、従来のIEEE802.11b規格のデュアルバンドに対応しています。高画質な映像コンテンツをスムーズに楽しめるほか、音楽データ等のダウンロード時間が大幅に短縮できます。

*IEEE802.11a(5GHz)無線LANアクセスポイントは外付けとなります。

次世代インターネットプロトコル規格IPv6に対応

現行インターネットプロトコルIPv4のアドレス空間を改良したIPv6にいち早く対応しています。将来のIPv6標準化にも柔軟に対応できます。

- ・ネイティブ接続、6to4トンネル接続、IPv6 over IPv4トンネル接続といったさまざまな接続形態をサポート。
- ・DHCPv6によるプレフィックスデリゲーションによる自動設定により簡単にIPv6接続が可能。
- ・ステートフルパケットインスペクションによるファイアウォール機能により、簡単な設定で外部からの不正な侵入に備えます。

難しいルータの設定も対話形式で行える

「ネットワークセットアップウィザード」

無線LANアクセスポイントに複数のPCを接続するには、ルータの設定やIPアドレスの取得など複雑な設定が必要でしたが、TransCube 20なら対話形式で行える「ネットワークセットアップウィザード」によりスムーズに設定することが容易です。

※ブロードバンドをCATV/ADSLでご利用いただくには、CATVモデム/ADSLモデムが必要です。通信事業者やプロバイダが採用している接続方式・契約約款等により本製品をご利用いただけない場合や同時に接続する台数に制限や条件がある場合があります。詳細につきましては、各通信事業者やプロバイダにお問い合わせください。

※無線の電波の通信距離は、壁の材質・見通し、また環境などの条件により異なります。隣接する部屋でも通信できないことがあります。通信距離についての保証はできませんのでご了承ください。 ※ワイヤレスLANに関するご注意につきましては、P.4をご覧ください。

さらにTransCube 20だからできる便利な機能

映像・写真・音楽データをTV1台とPC2台でマルチ鑑賞できる

テレビ放送や録画した映像・写真・音楽は、TV1台とネットワーク接続されたPC 2台の合計3台までそれぞれ異なった内容を同時に鑑賞できます。

※PCでのビデオタイトルの再生については、画質変換再生ではない場合に限ります。また、録画中の番組視聴については録画画質に対し、TransCube 20とPC間のデータ転送速度が十分な場合に限ります。 ※ワイヤレス転送での再生視聴時は電波状況や通信速度によって、画質を落とす転送する場合があります。 ※マルチユーザーに関するご注意につきましては、P.4をご覧ください。

録画予約を忘れても、インターネットで外出先から「リモート録画予約」

インターネットのテレビ番組情報サイト「テレビ王国」(<http://www.so-net.ne.jp/tv/>)のIEPG対応番組表で、見たい番組を選んで「予約ボタン」をクリックするだけで簡単に録画予約ができます。また、外出先で「録画予約を忘れた!」というときでも、大丈夫。iモードや外出先のPCから「テレビ王国」のリモート録画予約サービス「iCommand」を利用して、外出先でも番組表を見て遠隔操作で録画予約・キャンセルが行えます。



※リモート録画予約は設定によっては録画を実行できない可能性があります。また、「テレビ王国」への会員登録(無料)が必要です。iモードやPCから「テレビ王国」ホームページへのアクセスにかかる諸費用はお客様のご負担となります。

再生画面の中にTVのミニ画面を表示可能、「ピクチャー・イン・ピクチャー(PinP)」*

録画番組やビデオを再生中でも、野球の試合結果やニュースが気になる時には、画面の中にTVのミニ画面を表示できる「ピクチャー・イン・ピクチャー(PinP)」を活用。TVをチェックしながら、ビデオをじっくりと鑑賞できます。

*TVでの表示のみ。PCは対応していません。

MP3音楽データをTVやPCで再生

MP3音楽データを最大2,000曲保存できます。ジャンル、アーティスト、アルバム毎に一覧表示・管理ができ、PCはもちろん、TVでもジュークボックスのように再生できます。

※MP3形式以外の音楽タイトルは再生できません。また、MP3形式であっても、サンプリング周波数が条件に満たない場合は、TransCube 20での再生は行われません。 ※TransCube 20に保存したMP3音楽データは著作権保護のためPCにコピーして取り出すことはできません。 聴くことのみ可能です。 ※音楽タイトルの登録・コピーに関するご注意につきましては、P.4をご覧ください。



PIN機能によりファイルアクセスを制御

見られたくないデータをPIN(Personal Identification Number)機能で他ユーザーの閲覧を制御します。

■ TransCube 20使用上のご注意

設置について

- 本機を設置する際は、必ず脚部を下にし、縦に置いて使用してください。

使用できる国

- 本機を使用できるのは日本国内のみです。外国では無線規格および放送方式が異なりますので使えません。

アンテナについて

- 画像や音声はアンテナの電波受信状況によって大きく左右されます。

内蔵ハードディスクについて

- ハードディスクが破損、または故障をした場合、ハードディスクに記録されたデータの修復はできません。また、記録データの破損、喪失について、当社は一切の責任を負いません。
- ハードディスクには寿命があり、使用状態が激しい場合は数年で異常をきたす場合があります。
- 内蔵ハードディスクに保存されたデータは、「削除」や「フォーマット」を行っただけでは、特殊なソフトウェアなどを使うことにより、消したはずのデータが再生されることがあります。本体の廃棄や譲渡の際に、ハードディスクに保存されたデータの完全消去を行う場合は、専門業者に依頼（有償）をしてください。

外付けハードディスクについて

- TransCube 20の拡張ポートに接続できる外付けハードディスクは、データのバックアップ/リストア用途に限定され、以下の条件を満たすものに限られます。
 - ・接続インタフェース: USB2.0接続
 - ・容量: 160GB以上
- 容量が160GBより小さいハードディスクでは、データ量がハードディスクの容量を超えるとバックアップできません。160GBを超えるハードディスクを接続しても、160GB以上のデータは保存できません。
- バックアップを行うときは、外付けハードディスクはフォーマットされます。外付けハードディスクに保存されているデータはすべて消えますので、ご注意ください。
- バックアップ、リストアを行うときは、TransCube 20には外付けハードディスクを1台のみ、直接接続してください。
- TransCube 20に接続したハードディスクは、増設用（ファイルサーバ）としては利用できません。
- 一部の外付けハードディスクは使用できない場合があります。
- 動作確認済みの外付けハードディスクについては<http://dynabook.com/pc/wme/>でご確認ください。

メモリカードについて

- 指定されたメモリカード以外は使用できません。
- メモリカードの挿入や取り出しは、ルータモードの状態で行います。
使用可能なメモリカードタイプについては<http://dynabook.com/pc/wme/>でご確認ください。

写真の登録・コピーについて

- TransCube 20本体で表示可能な写真は、デジタルカメラの一般的なDCF規格に準拠したJPEGファイルに限り、JPEG2000形式の写真は表示できません。
- DCF規格に準拠していないJPEGファイル、および630万画素を超えるJPEGファイルはTransCube 20にコピーできません。
- TransCube 20のライブラリに登録できる写真の総枚数は10,000枚までです。
- TransCube 20に登録できるフォルダの数は1,000までです。1つのフォルダに登録できる写真の総枚数は1,000枚までです。

音楽タイトルの登録・コピーについて

- TransCube 20本体で再生可能な音楽タイトルは、以下の形式のものに限り、
 - ・ファイル形式: MP3 (MPEG Audio Layer-3)
 - ・サンプリング周波数: 48/44.1/32/22.05/16kHz
- コピープロテクト機能がついているファイルの保存はできません。
- 音楽データはTransCube 20からPCにコピーすることはできません。

録画・録音・編集について

- 本機を使用中、万一何らかの不具合により、録画・録音・編集されなかった場合の内容保証および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 内蔵ハードディスクに記録した重要な内容は、外付けハードディスクドライブにバックアップをするか、PCにコピーして保存されることをお勧めします。

テレビ視聴と録画について

- 本機を利用して映像・音声を視聴される場合、MPEG変換のために実時間より2秒程度再生が遅れます。厳密に実時間で見たい場合は、製品を使わず直接TVでご視聴ください。
- 製品は電源を入れてから録画できる状態になるまで時間がかかります。番組開始と同時に電源を入れた場合、番組冒頭の録画に間に合わない場合があります。
- 放送チャンネルや番組によっては、画像がコマ落ちすることがあります。
- 録画中や再生中に本体に振動や衝撃を加えると、映像が途切れたり、停止したりしてしまうことがあります。
- PCを本機に接続してTV視聴やタイトル再生を行う際、PCをバッテリー駆動時など省電力モードで使用すると、映像が乱れることがあります。

マルチチューザについて

- TransCube 20ではビデオケーブルで接続されたTVとLANで接続されたPC2台の合計3カ所同時に録画・映像・写真・音楽の再生が利用できます。
- 録画・映像・写真・音楽を再生するPCが802.11bで接続されていたり、通信状態が良好でない場合にはマルチチューザ機能に制限がかかる場合があります。
- TransCube 20のファイルサーバでは同時アクセスは5ユーザまでとなります。
- 本機を使ってPCとTVで同時にTV視聴を行うことはできません。同時に2台以上のPCでTV視聴を行うことはできません。録画は1タイトルのみ、録画中のTV視聴は録画中のチャンネルのみとなります。

著作権

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作人及び著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的に又は家庭内で使用する目的のみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作

権侵害”“著作権者人格権侵害”として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。製品を使用して複製などをなされる場合は、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけて頂きますよう、お願い致します。

- 著作権保護技術の採用により、録画禁止のものは視聴したり録画したりできません。また、「録画1回可能」のものも視聴したりハードディスクに記録したりできません。
- 出荷時にインストールされている写真データや音楽データは許可なく2次利用はできません。

ワイヤレスLANについて

- TransCube 20は2.4GHz帯の周波数を使用します。本製品の使用周波数帯では電子レンジ等の産業・化学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
- 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。



- 5GHz帯の周波数を使用しています。日本国内では5GHzは屋内専用です。
- 埋め込み型心臓ペースメーカーを装備している人から離して使用してください。
- 製品のワイヤレスLAN機能を医療機器の近くで使用すると、医療機器の誤作動の原因となることがあります。医療機器の近くではご使用にならないでください。
- 電子レンジなど、2.4GHz帯の周波数を使用する機器の近くで使用すると、製品の無線LAN機能に影響が出て、画像や音声がかかるなどの現象が出る場合があります。万一このような現象が出たときは、設置場所を変えてください。
- Bluetooth™を使用する機器の近くで使用すると、本機の無線LANに影響がでる場合があります。
- 無線の電波の通信距離は、室内でおよそ10mです。ただし、壁の材質・見通し、また環境などの条件により異なります。隣接する部屋でも通信できないことがあります。通信距離についての保証はできませんのでご了承ください。
- 製品付属の無線LAN PCカード、オプションの無線LAN PCカード、または東芝製ワイヤレスLAN内蔵ノートPC以外のワイヤレスLAN機器を用いた映像の転送は保証できません。
- ワイヤレスLANによりインターネットと映像の転送を同時に行うと映像が乱れることがあります。
- PCでのTV視聴と同時にほかのPCからの通信が行われると、場合によっては画質が乱れる、または再生できないことがあります。
- 本機と付属の無線LAN PCカードは、日本国内でのみご使用いただけます。ほかの国では使えません。

内蔵タイマーについて

- 本機の日時設定は、2035年11月30日以降は受け付けません。

ブラウザについて

- TransCube 20のルータ機能を設定するためには、Internet Explorer 6.0以降が必要です。Internet Explorer以外のブラウザでは動作いたしません。

インターネット接続について

- TransCube 20を利用してインターネットに接続するためには、別途回線接続業者やプロバイダとの契約が必要です。なお、プロバイダ指定の回線接続機器（ADSLモデムなど）に10BASE-Tまたは100BASE-TXのLANポートがない場合は接続できません。
- CATV/ADSLをご利用いただくには、CATV/ADSLモデムが必要です。
- 通信事業者やプロバイダが採用している接続方式・契約約款等により、TransCube 20をご利用いただけない場合や同時接続する台数に制限や条件がある場合があります。接続可能な通信事業者については、<http://dynabook.com/pc/wme/support/bb.htm>でご確認ください。

ルータの使用について

- プロバイダによっては、ルータの使用を禁止あるいは制限している場合があります。詳しくはご契約のプロバイダにお問い合わせください。

LIVE MEDIA for TransCube V2の動作環境

LIVE MEDIA for TransCubeを利用するには、

次の条件を満たすハードウェア/ソフトウェア環境が必要です。

	必要性能	推奨性能
CPU	Intel® Pentium® III プロセッサ1GHz	Intel® Pentium® 4 プロセッサ1.5GHz
メモリ	256MB	384MB
HDD空き容量	500MB	1GB以上
OS	Windows®XP SP1	Windows®XP SP1以上

* Windows® XP Service Pack1へのアップデートについては、

[Windows関連情報] <http://www.dynabook.com/assistpc/win.htm>、

[Windows® XP Service Pack対応状況] <http://www.dynabook.com/assistpc/winxp/sp1.htm>をご参照ください。

※上記動作環境を満たすPCであっても、東芝製ノートPC以外については動作保証を行っておりませんので、あらかじめご了承ください。

※商品購入時にWindows®XPが標準インストールされていない場合、動作保証を行っておりませんので、あらかじめご了承ください。

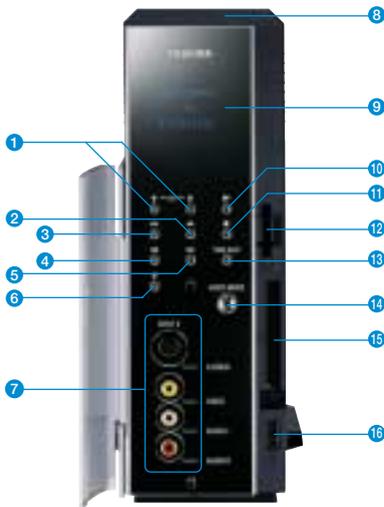
※サブポートOSは、Windows®XP Home Edition、Windows®XP Professional、Windows®XP Tablet PC Editionのみです。

※XGA(1024x768ドット)以上の画面解像度が必要となります。

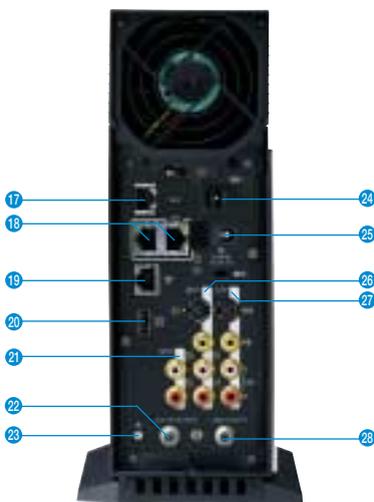
- 本カタログ掲載の商品の名称はそれぞれ各社が商標として使用している場合があります。
- Intel、Pentiumはアメリカ合衆国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、DirectXは、米国Microsoft Corporationの米国及び他の国における登録商標です。Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- Adobe、Adobeロゴ、Acrobat、およびAcrobat ReaderはAdobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の登録商標または商標です。
- InterVideoはInterVideo Incorporatedの登録商標です。WinDVDはInterVideo Incorporatedの登録商標です。
- リモート録画予約サービス「iCommand」はソニー株式会社の商標です。
- 「テレビ王」はソニー株式会社の登録商標です。
- So-netはソニー株式会社の商標です。
- iモード、アイモードは株式会社NTTドコモの登録商標です。
- Pレッツ・ADSL、Bレッツは、NTT東日本の登録商標または商標です。
- その他、本取扱説明書に記載されている会社名、商品名は、各社の商標および登録商標です。
- 写真はすべて本カタログ用に撮影したもので、実際の使用状況と異なる場合があります。また、写真の色は印刷のため、実際の商品の色と多少異なる場合があります。
- 本カタログ中の画面はハメコミ合成です。
- 本カタログに記載された写真、内容及び製品の仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
- 誤操作や故障により、本商品の記憶内容が変化・消失する場合がありますが、これによる損害については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- プレインストールソフトは、市販のパッケージ商品とソフトの内容・マニュアル、その他添付ソフトにおいて一部異なるものがあります。
- 時計用電池は一定期間内使用しないと放電し、時間設定がずれることがあります。
- 無線通信についてはペースメーカー(医療機器)に影響を及ぼす恐れがあるので、病院など使用が禁止されている所では使用しないでください。
- 本カタログに表記されている数値及び表現は2003年8月現在のものです。

感度をアップするためにワイヤレスLAN受信部をセパレート。
スタイルだけでなく、使いやすさを考えたインターフェースです。

[本体正面]



[本体背面]



[リモコン]



5GHz無線LAN
アクセスポイント



※[2.4GHz無線LANアクセスポイント]は
本体に搭載されています。

- | | | | |
|------------|----------------|-----------------------|------------|
| ① チャンネルボタン | ⑩ 表示窓(モードパネル) | ⑰ WANポート | ⑳ 電源スイッチ |
| ② 早送りボタン | ⑪ 再生ボタン | ⑱ LANポート | ㉑ DC入力端子 |
| ③ 早戻しボタン | ⑫ 停止ボタン | ㉒ 付属アクセスポイント
専用ポート | ㉓ 外部出力1端子 |
| ④ スキップボタン | ⑬ SDメモ리카ードスロット | ㉔ 拡張ポート | ㉔ 外部入力1端子 |
| ⑤ スキップ+ボタン | ⑭ タイムスリッパボタン | ㉕ 外部出力2端子 | ㉕ アンテナ入力端子 |
| ⑥ 録画ボタン | ⑮ ビデオモードボタン | ㉖ アンテナ入力端子 | ㉖ アース端子 |
| ⑦ 外部入力2端子 | ⑯ PCカードスロット | | |
| ⑧ アンテナカバー | ⑰ 拡張ポート | | |

無線LAN PCカード 1枚同梱



知りたいこと、わからないことを解決してくれる、安心のサポート体制です。

本製品の修理サービス

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店にお申し付けください。

●ご購入された、ご購入品などで販売店に修理のご相談ができない場合は
「東芝家電修理ご相談センター」
0120-1048-41 受付時間：24時間365日 携帯電話・PHSからはご利用できません。

●本製品についての技術的なご質問・お問い合わせ
「東芝PCダイヤル」
ナビダイヤル(全国共通電話番号) 0570-00-3100 (サポート料無料)
受付時間 / 9:00~19:00 [年中無休]

海外からの電話、携帯電話等で上記電話番号に接続できないお客様、NTT以外とマイラインプラスなどの回線契約をご利用のお客様は、043-298-8780で受け付けております。

セットアップサービス

●セットアップ(有料設定作業)のご依頼は
「東芝パソコンセットアップ受付センター」にお申し込みください。
0120-16-1048
携帯電話・PHSからはご利用できません。
受付時間 / 9:00~18:00 [年末・年始を除く]
TransCube 20・ノートPCの設定及びTVへの接続につきましては、「有料」にて出張サポートいたします。

WinDVD Creatorについて

●WinDVD Creatorに関するお問い合わせは
「インタービデオジャパンユーザーサポート」
TEL.03-5447-0576 FAX. 03-5447-6689
受付時間 / 月~金 9:30~17:00 (12:00~13:30および祝祭日を除く)
[夏期・年末特定休業日、休業日、出祭日を除く]
URL : <http://www.intervideo.co.jp/> E-MAIL : support@intervideo.co.jp
お問い合わせの前にホームページ(<http://www.intervideo.co.jp>)のサポートページをご確認ください。

修理形態

無料修理(保証修理) 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに記載された正常なご使用をされている場合であって、お買い上げ日から保証期間中に故障した時に、保証書に記載の「無料修理規定」に従い、ハードウェアの無料修理をいたします。 ※詳しくは、保証書に記載の「無料修理規定」をご覧ください。	有料修理 「保証書」に記載の保証期間が終了している場合、または、保証書に記載の「無料修理規定」の範囲外の作業(詳しくは、保証書に記載の「無料修理規定」をご覧ください。)については、有料修理をいたします。
--	---

部品について

部品の交換 保守部品(補修用性能部品)は、機能・性能が同等な新品部品あるいは新品と同等に品質保証された部品(再利用部品)を使用し、故障した部品と交換します。尚、有料修理でユニット修理を適用した場合及び無料修理の交換元(取り外した)部品の所有権は、株式会社東芝または株式会社東芝の認める各保守会社に帰属します。	保守部品(補修用性能部品)の最低保有期間 保守部品(補修用性能部品)とは、本製品の機能を維持するために必要な部品です。本製品の保守部品の最低保有期間は、製品発表月から6年6か月です。
--	---

■ 本体仕様

項目	仕様				
製品名	TransCube 20				
型番	PATRC020				
ネットワーク制御	ワイヤレスLAN	タイプ	外付けアクセスポイント	内蔵アクセスポイント	
		通信規格	IEEE802.11a準拠	IEEE802.11b準拠	WiFi準拠
		使用周波数帯域	5GHz	2.4GHz	
		変調方式	OFDM(直交周波数分割多重)方式	DS-SS(スペクトラム直接拡散)方式	
		チャンネル	34/38/42/46ch	1~11ch	
	転送速度	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps	11.0/5.5/2.0/1.0Mbps		
	セキュリティ機能	WEP(128/64bit)、MACアドレスフィルタリング			
	WANポート	通信規格	IEEE802.3(10BASE-T)、IEEE802.3u(100BASE-TX)		
		通信速度	10Mbps(10BASE-T)、100Mbps(100BASE-TX)		
	LANポート	通信規格	IEEE802.3(10BASE-T)、IEEE802.3u(100BASE-TX)		
通信速度		10Mbps(10BASE-T)、100Mbps(100BASE-TX)(ストレート/クロス自動判別)			
ルータ機能	ルーティングプロトコル		IPv4、IPv6		
	WANプロトコル		PPPoE、DHCP、固定IP		
	アドレス変換		NAT/IPマスカレード、ポートフォワード、DMZ		
	DHCPサーバ		内蔵		
	フィルタリング		パケットフィルタリング		
	ルーティング		スタティックルーティング		
	UPnP		内蔵(※1)		
	VPNパススルー		PPTP、IPSec対応(それぞれ同時に1セッションの通信可能)		
	IPv6接続方式		ネイティブ接続(PPPoE接続時のみ)(※2)、IPv4/IPv6デュアルスタック動作		
	IPv6トンネル接続方式		6to4トンネル接続、IPv6 over IPv4トンネル接続		
ハードディスク容量	録画可能タイトル数		200タイトル(1タイトル最大12時間)		
	録画方式	圧縮方式	MPEG2(可変ビットレート(VBR))		
		解像度	720X480ドット〔高画質〕/[標準]録画時 352X480ドット〔長時間1〕/[長時間2]録画時		
	録画時間(※4)	高画質	約40時間/平均8Mbps		
		標準	約80時間/平均4Mbps		
	長時間2	約145時間/平均2.2Mbps			
	長時間1	約230時間/平均1.4Mbps			
	静止画	保存可能タイトル数	最大10,000タイトル(※5)		
	オーディオ	保存可能タイトル数	最大2,000タイトル(※6)		
	ファイルサーバ	保存可能ハードディスク容量	5GB(※7)		
TVチューナ	受信チャンネル		VHF 1~12ch UHF 13~62ch CATV C13~C38ch		
	電源スイッチ		1		
	スタンバイスイッチ		1		
	映像操作ボタン		早送り、早戻し、再生、停止、タイムスリップ、録画、CH+、CH-、スキップ、スキップ		
	PCカードスロット		TYPE II X1(前面)(※8)(※9)		
	SDメモリスロット		1(前面)(※8)(※9)		
	WANポート		1(RJ45、背面)		
	LANポート		2(RJ45、背面)		
	付属7ピンポート		1(背面)		
	拡張ポート		2(前面、背面)(※9)		
外部インターフェース	アンテナ入力		同軸75Ω型X1(背面)		
	アンテナ出力		同軸75Ω型X1(背面)		
	映像入力		S端子(Mini-DIN) X2(前面、背面) コンポジット(ピンジャック) X2(前面、背面)		
	映像出力		S端子(Mini-DIN) X1(背面) コンポジット(ピンジャック) X1(背面)		
	音声入力		ステレオ(ピンジャック、左右) X2(前面、背面)		
	音声出力		ステレオ(ピンジャック、左右) X2(背面)		
	電源		ACアダプタ AC100V 50/60Hz 60W		
	環境条件		温度 5~35℃ 湿度 20%~80%(但し、結露しないこと)		
	消費電力		通常時(AVモード) 37.0W(最大60.0W) スタンバイ(ルータモード) 19.8W		
	その他	外形寸法		119mm(幅) X 357mm(奥行き) X 258mm(高さ)(スタンド、ボタンカバー、ゴム足含む)	
質量		約3.8kg			
付属品		本体、5GHz無線LANアクセスポイント、無線LAN PCカード(※10)、電源コード、ACアダプタ、映像・音声接続コード、S映像接続コード、アンテナケーブル、LANストレートケーブル(3m)、ワイヤレスリモコン、単四型乾電池(2本)、アプリケーションCD、マニュアル、保証書			

※1. Windows® Messengerの一部の機能は利用できません。※2. ネイティブ接続可能な通信業者についてはホームページにてご確認ください。(http://dynabook.com/pc/wme/support/bb.htm) ※3. ハードディスクの容量は1GBを10億バイトで算出しています。※4. 録画時間はあくまでも目安です。※5. DCFフォーマットに準拠したデータのみ。1フォルダ1,000枚まで。630万画素を超えるタイトルは保存できません。※6. MP3フォーマットの保存のみ。また、MP3データによっては再生できない場合があります。コピープロテクト機能がついているファイルの保存はできません。TransCube 20にコピーしたファイルは再びPCには戻せません。※7. 160GBのうち5GBをファイルサーバ領域として使用。ファイルサイズの変更はできません。※8. デジタルスチルカメラの映像取込みのみ。※9. 接続可能な機器についてはホームページにてご確認ください。(http://dynabook.com/pc/wme/) ※10. DynaBook G8/U25PDDW、G8/X20PDEB、G8/X20PDEWモデルではご使用になれません。上記モデルでワイヤレスLAN接続を行う場合、内蔵のIEEE802.11a/bワイヤレスLANをお使いください。

■ 無線LAN PCカード(IEEE802.11a/b対応 無線LAN PCカード)仕様

項目	仕様		
インタフェース	CardBus PCカード TYPE II		
ワイヤレスLAN	通信規格	IEEE802.11a準拠	WiFi準拠
	IEEE802.11b準拠	IEEE802.11b準拠	WiFi準拠
	使用周波数帯	5GHz(※1)	2.4GHz
	変調方式	OFDM(直交周波数分割多重)方式	DS-SS(スペクトラム直接拡散)方式
	チャンネル	34/38/42/46ch	1~14ch(※2)
電源	転送速度(※3)	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps	11.0/5.5/2.0/1.0Mbps
	セキュリティ機能	WEP(152/128/64bit)	
消費電力	3.3V		
環境条件	温度	0~65℃	
	湿度	20%~80%(但し、結露しないこと)	

※1. 日本国内では電波法により、5GHz帯ワイヤレスLANの屋外での使用は禁止されています。
 ※2. TransCube 20との接続は1~11chのみ。14chを使用する場合、送信のみ1Mbpsまたは2Mbpsに制限されます。
 ※3. 規格による速度を示したものであり、実効速度は異なる場合があります。
 注) IEEE802.11aとIEEE802.11bの同時使用はできません。

■ 付属アプリケーション

●・・・アプリケーションCDのみ添付	PC
LIVE MEDIA for TransCube V2	●●
WinDVD Creator	●●

※TransCube 20と接続するPC上で動作します。

■ ソフトウェア機能一覧

項目	機能		TV操作	PC操作	
表示	メインメニュー	PC側には「簡単操作モード」「エキスパートモード」の2つの操作画面を提供。	—	○	
ライブラリ管理	タイトル管理	録画済み番組やデジタルスチルカメラの写真データ、音楽データのタイトルをビデオ、写真、音楽の3つのデータベースで管理。	○	○	
	PIN機能	録画された番組や音楽、写真データにパスワードをかけて視聴できないように制御する。	○	○	
	キーワード検索	番組名や出演者などのキーワードで保存されているタイトルを検索。	—	○	
TV録画機能	録画予約	番組を録画予約。	○	○	
	インターネット電子番組表(iEPG)対応	iEPGからの番組録画予約が可能。	—	○	
	録画予約一覧表示	新規及び予約済み番組の一覧表示や予約内容の変更が可能。	○	○	
	録画可能時間表示	画質別による録画可能時間の表示。	○	○	
	外出先からの録画予約	iモード携帯電話やインターネットに接続されているPCを使って外出先から録画予約の設定が可能。	—	○	
	BS/CS対応	外部BS/CSチューナのタイマー機能に連携した入力自動録画設定。	—	○	
	ワンタッチ録画	現在視聴しているTV番組をワンタッチで録画開始。	○	○	
	クイックタイマー録画	録画中のTV番組録画終了時間を30分単位で変更が可能。	○	○	
	録画済み番組の一覧表示	録画済み番組のタイトルやジャンルなどを一覧表示。	○	○	
	録画済み番組の詳細情報表示	録画済み番組の録画画質やメモなどを表示可能。	○	○	
TVビデオ再生	視聴・未視聴番組表示	視聴・未視聴の番組を判別できるようにマーク表示。	○	○	
	カレンダー表示	カレンダー形式による録画済み番組の検索。	—	○	
	通常再生	再生に加え、早送り、一時停止、スロー再生、リピート再生が可能。	○	○	
	録画同時再生	TV番組の録画を続けながら、すでに録画している別番組の再生が可能。	○	○	
	追っかけ再生	番組の録画を続けながら、録画中の番組の最初のシーンからの視聴が可能。	○	○	
	PinP(ピクチャー・イン・ピクチャー)	再生中に画面の中に小画面を表示し、テレビ放送の視聴が可能。	○	—	
	リジューム再生	前回視聴を終了したシーンから再生開始が可能。	○	○	
	ワンタッチスキップ	タイトルの再生中にワンタッチで約15秒先もしくは前のシーンにスキップが可能。	○	○	
	ワンタッチリプレイ	ネットワークで接続されたPC2台とTVの3か所にそれぞれ異なる録画済み番組や音楽を再生させることが可能。(※1)(※2)	○	○	
	複数同時映像再生	無線LAN経由で最大8Mbpsでの映像再生が可能。(※3)	—	○	
PC運動機能	PCでの映像再生	PCからでも付属のリモコンと同じように再生や早送りなどの操作が可能。	—	○	
	ウェブリモコン	録画映像の取込み	TransCube 20で録画した映像をPCへ転送。	—	○
	録画映像の部分取込み	TransCube 20で録画した映像の一部のシーンだけをPCへ転送。	—	○	
	DVカメラ映像の取込み	DVカメラの映像をPCに取込み、添付の[WinDVD Creator]で映像を編集してTransCube 20へ保存することが可能。	—	○	
	DVD保存	編集した映像をPCに取込み、[WinDVD Creator]で編集・オーサリングをしてDVD-R/RWに書き込み。(※4)	—	○	
	画質補正	液晶ディスプレイで動きの多い映像をリムーブに再生。	—	○	
	画像取込み	デジタルスチルカメラで撮影した写真データをメモリカードから直接保存が可能。	○	—	
	写真データの取込み	PCに保存されている写真データをTransCube 20内蔵のHDDに保存。	—	○	
	写真データの一覧表示	写真データをサムネイルで表示。	○	○	
	スライドショー	フォルダ内に保存されている写真データを一定間隔で自動再生。	○	○	
デジタルスチルカメラ連携機能	回転表示	90°、180°、270°の回転表示が可能。	○	○	
	メモ記載	個々の写真データにメモを追加することが可能。	—	○	
	写真データの取込み	保存日や撮影したデジタルカメラの機種などの詳細情報表示	○	○	
	写真データの詳細情報表示	視聴・未視聴表示	視聴・未視聴を判別できるようにマーク表示。	○	○
	音楽データの書込み	音楽データの一覧表示	TransCube 20に保存されている音楽データを再生。	○	○
	音楽データの再生	音楽の詳細情報表示	曲名、アーティスト名、アルバム名、再生時間、ビートルズなどの表示。	○	○
	音楽データの再生	PCで入力したメッセージを伝言としてTransCube 20に保存して、テレビ、PCで開くことが可能。	○	○	
	伝言板機能	PCで作成した住所録や文書ファイルなどのデータをTransCube 20へ保存が可能。	—	○	
	ファイルサーバ	NTPサーバへのアクセスによる内蔵タイマーの自動補正設定。	—	○	
	時間補正設定	外付けUSB-HDDドライブにバックアップが可能。	○	—	

※1. 同時再生は映像以外に写真データや音楽データの再生も可能です。
 ※2. 環境や使用中の機能によっては同時再生ができない場合があります。
 ※3. 接続している無線LANや環境によっては8Mbpsで再生できないことがあります。
 ※4. PCがDVD-R/RW書き込み機能に対応している場合。
 ※5. TransCube 20に保存されたデータは再びPCに保存することはできません。

■ オプション

IEEE802.11a/b対応 無線LAN PCカード(9月中旬発売予定)

型番:[PCN058A] オープン価格*

お問い合わせ先: 東芝 PC IOSセンター 043-278-5970

*オープン価格の商品は希望小売価格を定めておりません。



安全に関するご注意

●正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書の「安全上のご注意」等をよくお読みください。

株式会社 **東芝** デジタルメディアネットワーク社
 PC事業部 〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1(東芝ビルディング)